オーディオ実験室収載

タップリベラメンテとフィルタライザーの活用(6)
—47 研 CD トランスポート 4716 へ適用—

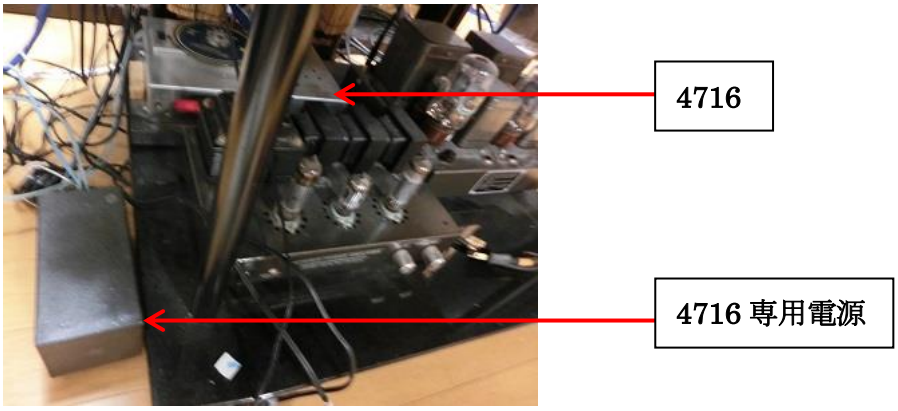
1．始めに

前報(5)では城下工業の CD トランスポートである SWD-CT10 について報告しましたが、今回は 47 研の CD トランスポート 4716 へ適用について調べてみることにしました。

2．タップリベラメンテとフィルタライザーの試聴方法

試聴は、4716 の S/PDIF 出力を CCV-5 経由で micro iDSD に入力して CD を再生することでタップリベラメンテとフィルタライザーの効果をしらべました。なお、CCV-5 には GPS-777 から 96KHz のクロックを入力しています。

フィルタライザーについては、4716 の専用電源の AC ケーブルと DC ケーブルについて実施することにしました。



3．タップリベラメンテとフィルタライザーの試聴結果

タップリベラメンテもフィルタライザーも使用しない状態で聴きますと、パワーリベラメンテや KOJO のタップの導入により、以前とは随分印象が変ってきて、4716 を見直しています。

4716 の電源の電源はパワーリベラメンテで給電した KOJO のタップからとっていますので、これをタップリベラメンテから取りますと、それほど大きな違いはありませんが、音に深みが出てきます。次に 4716 の専用電源の AC ケーブルと DC ケーブルをフィルタライザーに巻きますと、さらに音に深みが出でディテールの表現に長けてきます。

4716 はストレートな表現力はありますが、ややストレートすぎて味わいに欠けると

ころがありますが、そういったところがタップリベラメンテとフィルタライザーの追加により是正されて落ちついた音で聴くことができるようになります。しかしながら、総体としては、前報(5)の SWD-CT10 に及ばないところがあるのは、SWD-CT10 ではトランスポートへの外部クロックの入力や FIDELIX の電源へのグレードアップが効いているものと思われます。

４．まとめ

47 研の CD トランスポート 4716 の専用電源においてタップリベラメンテとフィルタライザーの効果が認められました。

以上